

都知事と万葉倶楽部株式会社会長との会談概要

① 平成 30 年 5 月 1 日

＜時 間＞

13 時 10 分～14 時

＜主な内容＞ （都）：東京都 （万）：万葉倶楽部株式会社

（都） 25 日に「築地再開発の具体的な内容が分からず、事業実施の判断できない」との回答があったため、ご懸念の点も含め、都の考え方をあらためて説明させていただく。

（都） 築地の賑わいを豊洲で引き継いでいくため、千客万来施設事業が重要であるということに変わりはない。事業を行う上で、万葉倶楽部さんは重要なパートナーであると認識している。文書で期限を切ったことについて一方的だと誤解されているが、1 月以降、双方で真摯に協議を重ねてきた経緯を踏まえたものであることをご理解いただきたい。

（都） 昨年 6 月に公表した基本方針は、豊洲と築地の両方を活かすという大きな方向性を示したものである。築地を「食のテーマパーク」として再開発するという表現は一つの例示である。築地の再開発にあたっては、今後、民間からの提案を募集する際、千客万来施設事業のコンセプトとの両立や相乗効果を図っていく考えである。

（万） 築地再開発について一方的な説明があったが、千客との整合性を図るということだけでは、これまでの説明と変わらないというのが我々の認識だ。千客万来施設事業は、元々、築地の場外市場を豊洲に持ってきて賑わいを継承するということで準備を進めてきたが、基本方針によって大きく変わってしまった。事業実施を決断するためには、今年の 6 月 20 日以前の状態に戻す、すなわち原点に返ることが必要だ。

（都） 築地市場跡地は、以前から将来は再開発をする方向であり、今はまだ青写真であるが、千客万来施設との整合性や相乗効果を図っていく。

（万） 千客万来施設事業の募集要項にも、築地再開発についての記載はなかった。着工が遅れたことで、建設コストが上がっている。事業実施に向けて、建設コストを抑制できる建設業者を紹介して欲しい。また、テナントリーシング

も厳しい状況に追い込まれており、都が協力して欲しい。条件闘争のような形になってしまうが、私たちもやり辛くなっていることを御理解いただきたい。

(都) 豊洲に賑わいを作るという考えに変わりはないが、千客万来施設の事業環境を阻害するような誤解を与えてしまったことについては申し訳ないと思っている。是非、パートナーとしてやっていければと思っている。これまで、担当者どうしで議論を重ねて、賃料の話などより具体的なところまで踏み込んできた状況もある。お話の建設会社の紹介は難しいが、テナントリーシングの件も含め、あらためて、どこまでできるか検討させていただきたい。

② 平成 30 年 5 月 30 日

<時 間>

19 時 30 分～20 時

<主な内容> (都)：東京都 (万)：万葉倶楽部

(都) 豊洲市場に係る様々な課題検証に追われる中で、万葉倶楽部に対して十分な配慮をしてこなかったことについて申し訳ない。

(万) 誠意ある謝罪の言葉をいただけたと思い、信頼関係が回復したものと認識した。事業についてであるが、今から着工しても東京 2020 大会までに施設が完成しないことや、建設費が高騰している状況を踏まえると、東京 2020 大会後に着工した方が結果として事業が成功するのではないかと考えている。

(都) そのような案があるのであれば、正式に文書で示してほしい。

(万) 明日 (31 日)、提案させていただく。